

ひろば大代

NO.242

大代公民

祝敬老の日

大代町では九月十五日（水）午前十時半から大代小学校校体育館に於て七十五才以上百三十六名の方々を対象に敬老会を開催致しました。

当日は九十六名の出席があり、植松の後藤フサミさんは白寿のお祝いを受けられました。開会式に続き、中学生の田植囃子、可愛い幼稚園児の歌と踊り、大田警察署・地域安全推進委員・地元の有志による寸劇、その他飛び入り参加の方々の一芸に会場は大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。

これからお身体を大切にいつまでも明るく楽しい日々を送られますようお祈り致します。町内の皆さんご協力を有難うございました。

◎白寿祝（九十九才）一名（敬称略）

後藤フサミ （植松）

◎米寿祝（八十八才）二名

田中シヅ子 （上市）

松本カナ （下市）

◎喜寿祝（七十七才）十名

松井 幸 （本郷）

横手フサノ （柿田）

山根光枝 （本郷）

中垣英親 （四日市）

渡利春美 （上市）

大場キクエ （弓久）

竹間 茂 （下谷）

森脇タケ （本郷）

高村サクエ （下飯谷）

原田ヨシエ （上飯谷）

大田警察署の呼び掛け防止の徳悪悪徳にちりお年寄り劇を寸劇



敬老会に出席して

下市 田中シヅ子

今日の佳き日に米寿のお祝いをさせていただき深く感謝致します。

明治・大正・昭和・平成と四代を生き晴れのお祝いを受けることは何よりの幸せと思います。

私は子供の頃身体が弱く皆から「この子は長生きは出来ないだろう」と言われたそうです。母の愛情と介護のお陰で今日を生かさせて頂いています。

八十八年の長い人生にはいろいろな事がありました。戦争という大変な出来事にもありました。食糧も不足して苦しい時代でしたが、幸いにも五人の子供達も元気に成長し、一人暮らしの私の事を心にかけてながらそれぞれに生活しています。主人亡き後十八年間続けてきた酒店も時代の流れ止むなく、廃業致し今は静かに日々を送っています。

私がこの町に嫁いで来た頃は子供も多くいて大変活気のある町でした。

夏の十七夜、秋の例祭の時など下市の

通りは人波で通り抜けが難しい位でした。道の両端には露天商が並び、子供達は貰ったお小使を手の中にしっぺりと握りしめて、玩具屋の前に立ち、あれこれと品定めをしている姿が今でも目の前に浮かんできます。

賑やかだったこの町も今はあちらこちらに空き家が目立ち、雑草の生えた荒れた田んぼを見るとやるせなく寂しい感じがしてきます。

けれど六十年余り住み馴れたこの町そして私の周りのあたたかい皆様方に囲まれて出来る限りこの町で暮らしたく、ささやかな幸せを今日から明日へと希望をつないで頑張つて生きていきたいと思っています。ありがとうございます。

喜寿を迎えて

本郷 松井 幸

八十数才の高齢で大田市へも数回、不自由な足を運び、トボトボと教壇に登り親子読書の真髓に迫り、「二一三

才児から絵本の読み聞かせを」「一冊の本で良い」「一日十五分で良いのです」「子供の集中出来る時間帯を選んでやってほしい」「繰り返し〜根気よく押しつけは絶対駄目」と

大会場を一瞬しゅんとさせた人、鹿児島県生まれ、童話作家「椋鳩十先生」乳幼時期に大切な親子読書のお話。

今年百才を迎える人は全国で一万八千人と言われます。大田市でも百五才を筆頭に九十四才以上の方が百人余り番付で発表されました。すばらしい生命力改めて敬意を表します

私達の町では最長老の後藤フサミ様が九十九才の頑張りで、其の健気な生活には驚きです。

私もやっと七十七才の誕生を迎えました。足元にも及びません。私の半生は何か戦争と戦後に明け暮れた様です。飛行機がふり撒くエンジンの音と砂ぼこり。キーンとつんざく様な急降下の音、遂には血圧も安定しなくなり、現在薬を飲んでやっと安定、好きなお酒もたたった様です。赤面の至り…。

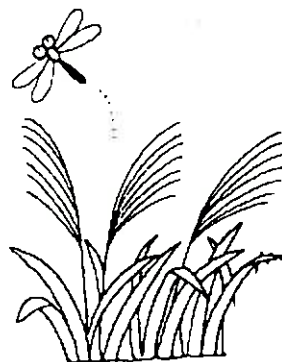
ふるさとを守って下さった皆様の御家族のご努力…もう戦争があつては

いけません。

間もなく新しい世紀に入ります。健康で平和な日常の暮らしこそ一番大切な幸せと信じます。

七十七才を迎えて

本郷 森脇タケ



私の母は七十七才で九月十五日敬老の日亡くなっており、後日祝いの品を頂いております。

私はちょうど母の亡くなった日を無事で喜寿を迎えることはなんと幸福であると痛感致しております。

振り返れば七十七才までの人生の荒波とでもいまいましようか。戦前戦後の食べ物も少なく子供五人を育てて来ました。親子で苦労したものです。その苦労はとても書き表せない程です。昔からの諺で若い苦労は買ってでもした方がよいといわれますが、まさにその

通りだと思いません。今では子供達もそれぞれ家庭を持ち、遠く離れていても親孝行してくれます。

現在、高齢化社会でも社会福祉の向上と医学の進歩で健康に喜寿を迎える事が出来て、本当に感謝をしております。これからも人様に迷惑をかけないように生きていきたいと思っております。特に寝たきりにならないよう心がけようと思っております。

一日一日を大切にして送りたいと思えます。

故市原仁郎さんを偲んで

公民館長 笹木光夫

平成二年二月から今年八月まで九年と七カ月に亘り、大田市市議会議員として活躍された市原仁郎さんが八月十八日御逝去されました。

大代町民はもとより大田市民の声を市政に反映し、経済、農林、建設、文教厚生と幅広く御尽力され多大なる功績に対し衷心より敬意を表しますと共に労をねぎらいたいと思えます。

思い起こせば十年前、市議会に入る決意を固められた時、町民がこぞって高山を拓くみんなの会をたちあげ行動を開始したのが、今脳裏にはつきりと浮かんで来ます。私も青年部として軽トラックにのぼり旗、拡声器を取り付け大森まで宣伝活動をしました。選挙結果は新人ながら上位当選を果たし、大代町内に大きな灯がともりました。

市議会では新人ながら発言も多く、特に現在の市道、農道のコンクリート舗装は市原さん抜きでは語られませんが近年は大家バイパスの着工に向けて御尽力され、今年いよいよ発注があります。九月二十七日が一期工事の入札の運びとなっていることを報告致します。

突然倒れられ、意識の戻らぬまま他界された市原さんは大代や大田市にとって大きな損失です。「笹木さあんと大きな声で玄関を開け、私共が玄関に出るとそこに置き物、本人はもう車の中という非常に忙しい人でした。もう姿を見ることは出来ません。心より御冥福をお祈り申し上げます。

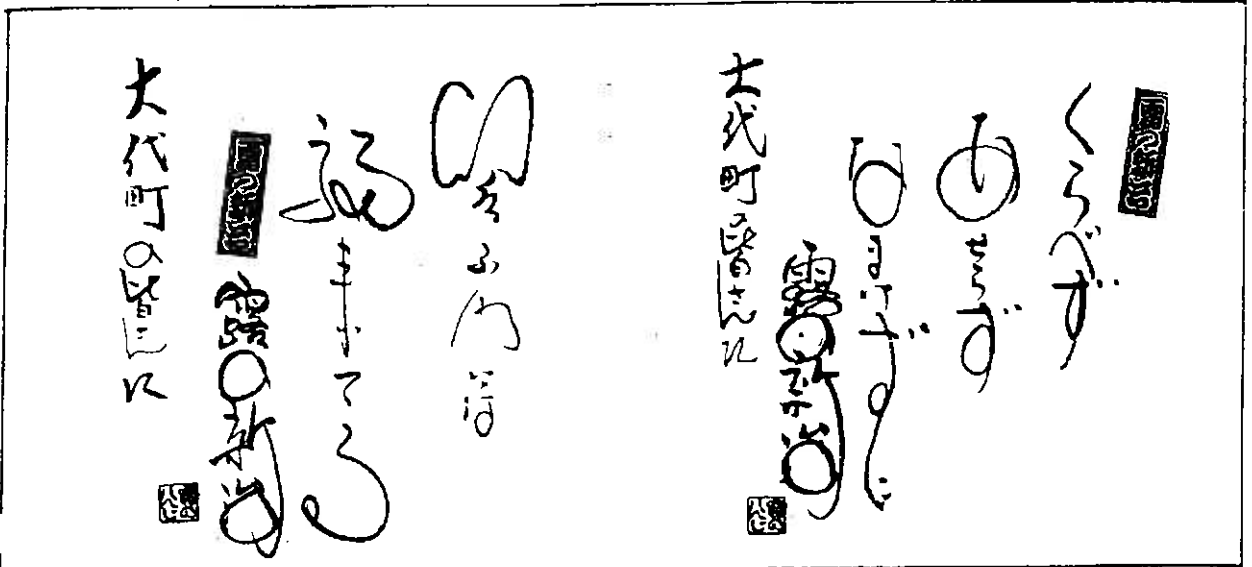
速報！

落語家来町！

去る九月十九日（日）大代小学校体育館において「上方落語とお笑い人権高座の夕べ」が落語家の露の新治さんを迎えて開かれました。

当日は二百人余りの人で会場は熱気に包まれ、あつという間に二時間が過ぎました。





★—★おしらせ★—★

現在、江津市にお住まいの（飯谷出身）魚本一人様から公民館へ、三枚がセットになっているパネル一基を寄贈して頂き、先日の敬老会に初めて使わせていただきました。厚くお礼申し上げます。

◎大代公民館から

都市交流会において御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

東京石見高山会様 関西高山会様

田中憲経様 今田 潔様

松野 広様 宇井好恵様

松本健一様

◎社協大代支部から

下市 市原孝子様より

香典返しにかえ、金一封の御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

- * * * * *
 - * 九月～十月行事予定 * * * * *
 - * * * * *
 - ◆ 26日(日) 町民運動会
 - ◆ 十月行事予定
 - ◆ 4日(月) あすなろ俳句会
 - ◆ 10日(日) 福祉弁当
 - ◆ 14日(木) ダイヤゾーンボール教室
 - ◆ 18日(月) 編集委員会
 - ◆ 23日(土) 連合自治会
 - ◆ 28日(木) ダイヤゾーンボール教室
- 場所 小学校体育館午後八時～

